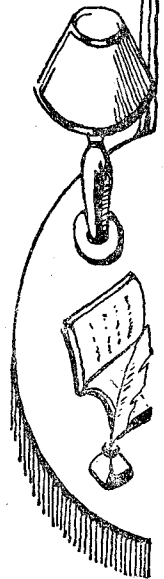


感想



東京市路面鋪裝普及の概況

(昭和六年四月十四日理事會にて)

近 新 三 郎

私は大正十三年以來、東京市の路面鋪裝工事に直接關係致し居るの故をもちまして、東京市に於ける路面鋪裝普及の概況を、一言御報告申上ぐるの光榮を有します。

東京市の悪道路と云ふ言葉は、久しく聞く處でありまして、晴れては黄塵天に漲ぎり、雨降れば泥濘靴を没すと云ふ形容詞は、多くの人によつて繰り返し唱えられたる處であります。自動車が始めて東京市に運轉せられましたのは、明治三十五年頃と聞き及んで居ますが、其の後自動車

臺数の増加に伴ひまして、悪道路くくと云ふ叫びは、逐年其の聲を増大し、東京市では道路に稻を作るのかと云ふ惡譚を、外人の口より聞くに至つたのであります。

大正八年春此の道路改良會が創設せられたる以來、全國の道路改良の爲に、御盡力下さいましたることは、申す迄も無いことで御座いますが、特に東京市の道路就中路面の改良に對しましては、各方面に涉り、實に一方ならざる御配慮と御盡力とを仰ぎました、東京市道路の今日あるは、

本會のお力に負ふ處多大でありまして、私は東京市の道路をお預りする當局者の一人として、深く感謝する處であります。東京市の路面舗装は、明治四十四年頃、即ち今より約二十年前より試みられたるものでありまして、木塊舗装、アスファルト舗装等は、市内の幹線道路に施工せられました。始めの十年間は、大體に於て不結果でありまして、種々の失敗を繰返したのであります。其の後大正九年畏くも御内帑金三百萬圓御下賜の御沙汰を拜しまして、同年道路局を新設し、路面舗装を稍大規模に、計畫的に、實行するの機運に達したのであります。即ち大正九年十二月同年度の追加豫算として事業費二百萬圓を市會に於て議決し工事に着手致しましたが、僅に三萬餘圓を以て舗装用機械類を購入して打切りとなつたのであります。然るに其の翌千年度に至りまして、大正十年度より大正十五年度に至る。六ヶ年繼續事業として、重要道路の舗装を行ふことになりました。事業費三千九百四十六萬八千圓、即ち約四千萬圓を、市會に於て可決し事業を進めました。大正十二年

九月の大震災火災の結果として、復興事業に關係ある路線の舗装は、暫く本計畫より除外する事と成り、總事業費を千八百八十五萬圓、即ち當初の約二分の一に縮少致したのであります。此の千八百餘萬圓の路面改良事業は、四十六萬坪餘の舗装を致しまして、昭和四年度を以て一先づ終了を告げたのであります。是迄事業を進捗せしむるに就きましたは、舗装工法の選擇はもとより、舗装用器具機械の選定竝に舗装工事に従事する高級及下級技術者其の他職工等の養成に關し、非常なる努力を要したる次第でありまして。今日に於ける、東京市のみならず全國に互る舗装技術の發達は、此千八百餘萬圓の路面改良事業に負ふ處極めて多大なのであります。私は此事業の大先達として非常な苦心と、努力とを拂はれたる、其の當時の東京市道路局長丹羽博士及牧博士に對し、深く敬意を表するものであります。復興事業に依る、區劃整理地區内の道路及區劃整理地區外に互る復興關係道路に就きましたは、幹線道路の舗装は、復興局即ち國に於て御施行になり、補助線道路の舗装は、

東京市に於て施行致したのであります。幹線道路は、當初の計畫に於きましては、約三十八萬坪を鋪裝せらるゝに過ぎなかつたのであるが、實際に於ては、約九十四萬坪を鋪裝せられ、又當初鋪裝の豫定を有せざりし補助線街路は、約二十一萬坪を鋪裝致しました。此の兩者を合せ復興關係のみに於て、約百十五萬坪餘りを鋪裝致しましたることは、東京市の路面鋪裝普及上、實に顯著なる事蹟でありまして、此の大方針を決定せられたる、其の當時の堀切復興局長官の御努力に對し、深く感謝する次第であります。

以上千八百餘萬圓の路面改良事業及帝都復興事業に依り、市内に於ける路面鋪裝の普及を著しく促進致しましたが、尙此の他に、失業救済事業も亦、路面鋪裝を普及せしむるに相當有効であつたのでありまして、茲兩三年間に於ける、簡易鋪裝技術の著しき發達と相俟つて、路面鋪裝の急速なる普及を爲さしめ得る事と成つたのであります。即ち「アスファルト」に依る剛質鋪裝は、一面坪約二十一、二圓の建設費を要しますが、簡易鋪裝は一面坪僅に三圓乃至

一圓五十錢で足るのでありますから、剛質鋪裝一坪の費用を以て、尠くも七坪の簡易鋪裝を施し得る事と成り、即ち七倍以上の速度を以て、鋪裝を普及せしめ得るのでありますから、一時に多額の支出を爲すを許さざる東京市の現状としては、誠に時宜に適したる工法であると思ふのであります。

尤も、剛質鋪裝は、建設費の高價なる以外に於ては、簡易鋪裝に比し、其の維持の容易なることと、其の路面の清潔なる點に於て、優れて居ることは申す迄も無いことではありますが、簡易鋪裝は、砂利道を其の儘利用する關係上、極めて簡便に施工し得るものでありまして、然かも、地下埋設物の爲にする掘鑿路面の復舊費は、單なる砂利道の復舊に比して、一面坪僅に一圓五十錢高價なるに過ぎぬのでありますから、剛質鋪裝建設の場合に於けるが如く、地下埋設物の根本的整理をまつこと無くして、直ちに施行し得るの便宜があるのであります。即ち、復興事業期間中、堀り返しの爲に非常なる難儀に引續き、其の後に於ける財界不

況に因る商業の不振に悩みつゝある沿道の居住者に、掘り返しの苦痛を與ふること尠くして、工事を施行し得るのでありますから、旁々以て東京市の現況に適する工事であると信ずる次第であります。

併しながら、今後自動車殊に貨物自動車の總重量が、米國に於けるが如く、十五噸程度になりましたならば、簡易舗装は之に堪え能はざるに至るかも知れませぬが、市内に於ける、自動車交通は、二十哩以内の近距離輸送に屬するもの、多かるべきは、豫想に難からざる處でありますから、總重量十五噸程度の自動車が、盛に市内の道路上に運轉せらるゝことは、相當に遠き將來の事であらうと思はれまするが故に、其の時期に及んで、漸次剛質舗装に改造致しましても決して遅くは無く、又不經濟では無いと思ふのであります。

過去十ヶ年間に、市内に於ける舗装普及の狀況に就き申上ぐれば、大正十年には、軌道敷以外の舗装は四萬六千坪餘りでありまして、是に軌道敷を加へましても、市内の總

道路面積の僅に九%弱に過ぎなかつたのであります。大正十四年以來、急速に、其の歩合を高めまして、昭和五年に於きましては、軌道敷以外の舗装道路面積は二百十九萬四千坪餘でありまして、是に軌道敷を加ふれば、舗装道路面積は二百四十四萬八千坪餘りとなり、市内の總道路面積四百四十萬坪の五五%餘が舗装道路となつたのであります。

是を區毎に觀察致しますれば、舗装の最も行き互りたるは、麴町區の八六%弱でありまして、是に次ぐものは、神田區の七四%、赤坂區の六五%、日本橋區の六二%、芝區の六一%等で、最も行き互らぬのは、深川區の三一%、本所區の四四%等であります。斯の如くして、全市の總道路面積に對する舗装道路面積の比率は、前申上げましたる通り、五五%強であります。が、幅員十米以上の道路に於きましては、其の舗装比率は約八〇%でありますから、自動車の主として通行する重要道路は、大體に於て舗装せられたる譯であります。

而して、路面鋪裝建設の爲今日迄に要したる費用は、約四千六百六十萬圓に達しました。數年前迄は、自動車に乗ることは贅澤であると考えられたこともありましたが、續いて三哩一圓タクシーガ出來、更に市内一圓タクシーが出來、今日に於ては、事實に於て市内五十錢タクシーとして、盛に利用せらるゝに至つたことは、元より物價下落の一般的傾向に因るとは申し乍ら、主要道路に對する鋪裝の普及に負ふ處尤も大なりと思ふのであります。加之、市内の道路に鋪裝普及の結果と致しまして、道路の維持修繕費に於て年々多額の節約を爲し得るに至りましたことは、見逃がすべからざる事實であると思ひます。即ち市内に於ける鋪裝道路は二百四十四萬八千坪餘りでありますが、之より軌道敷を差引きたる残りの約二百二十萬坪は、軌道經濟以外の所謂一般市費を以て維持管理せらるべきものでありまして、若しも此の二百二十萬坪が、砂利道の儘存在したと假定致しましたならば、其の路面の維持修繕費は、一ヶ年約四百六十萬圓を要する筈であります、之を鋪裝したるが

爲に砂利道の場合に比し簡易鋪裝は約六割、剛質鋪裝は約三割五分の費用で足るのでありますから、是迄の鋪裝の結果と致しまして、一ヶ年二百六十萬圓餘の路面維持修繕費は節約せらるゝことと成つたのであります。今後鋪裝面積の増加に伴ひ、益々維持修繕費の節約額が、増大せらるゝのであります、財政難を訴へつゝある東京市と致しましては、此の維持修繕費の節約のみを以てしても、鋪裝普及の惠澤は多大であると思ふのであります。殊に、鋪裝の結果節約せらるべき自動車運送費の節約年額は、現在の二萬臺餘の自動車に對し、恐くは一千萬圓に達すべき見込でありまして、市民の受くる利益は、自動車臺數の増加に伴ひまして、益増大する譯であります。併しながら、市内の道路は、前申上げました通り其の總道路面積より見れば、約二分の一強が鋪裝せられたるに過ぎません。残り二分の一は、依然として砂利道の儘存在するのであります。此殘存する砂利道を悉く鋪裝することによりまして、既設の鋪裝は一層其の意義と効果とを發揮することと思ふのでありま

す。残存砂利道を舗装するに要する費用は、約四百萬圓の見込でありまして、財政的に豊かならざる東京市と致しましては、重き負擔でありますから、其の完成に對しては、特に有力なる本會の御聲援を御願する次第であります。

終に臨み一言附加へて申上げたいと思ひます。近頃悪道路／＼と云ふ聲を餘り聞かぬやうに成りましたことは、舗装普及の結果で

第一 表

東京市路面舗装概表

一 總道路面積	四、四〇三、〇〇〇坪
二 舗装道路面積	二、四四八、〇〇〇坪
三 舗装普及率	五五%強
四 之迄に要したる舗装建設費	四六、六〇〇、〇〇〇圓
五 残存砂利道路面積	一、九五五、〇〇〇坪
六 今後の舗装建設費	四、〇〇〇、〇〇〇圓
七 舗装に依る路面維持修繕費節約年額	二、六〇〇、〇〇〇圓
八 舗装に依る自動車運送費の節約見込年額	(昭和六年四月現在) 一〇、〇〇〇、〇〇〇圓
九 剛質舗装一而坪の建設費	二一圓
十 在來の砂利道を基礎としたる簡易舗装一而坪の建設費	三圓
重交通道	一圓五〇錢
輕交通道	

ありますが、畢竟本會
が、大正八年以來引續
き與えられたる熱誠な
る御聲援に負ふ處、誠
に多大なのでありまし
て、重ねて深く感謝の
意を表する次第であり
ます。然るに市民の多
くは、一橋梁又は一隧
道の竣功に對し其の喜
びの情を種々の催しに
依り表はすにも拘ら
ず、路面舗裝の普及に
對しては殆ど無關心な
るが如く見ゆるは、聊
遺憾とする所でありま
す。斯の如きは、日々

第 二 表

年 度	東京市總道路面積卜舗裝道路面積卜比率調	
	計	比率
大正十年度	一、〇、五五九七 一、五五九七	八七・〇
十一年度	一、〇、五五九七 一、五五九七	八七・〇
十二年度	一、〇、五五九七 一、五五九七	八七・〇
十三年度	一、〇、五五九七 一、五五九七	八七・〇
十四年度	一、〇、五五九七 一、五五九七	八七・〇
十五年度	一、〇、五五九七 一、五五九七	八七・〇
十六年度	一、〇、五五九七 一、五五九七	八七・〇
十七年度	一、〇、五五九七 一、五五九七	八七・〇
十八年度	一、〇、五五九七 一、五五九七	八七・〇
十九年度	一、〇、五五九七 一、五五九七	八七・〇
二十年度	一、〇、五五九七 一、五五九七	八七・〇
二十一年度	一、〇、五五九七 一、五五九七	八七・〇
二十二年度	一、〇、五五九七 一、五五九七	八七・〇
二十三年度	一、〇、五五九七 一、五五九七	八七・〇
二十四年度	一、〇、五五九七 一、五五九七	八七・〇
二十五年度	一、〇、五五九七 一、五五九七	八七・〇
二十六年度	一、〇、五五九七 一、五五九七	八七・〇
二十七年度	一、〇、五五九七 一、五五九七	八七・〇
二十八年度	一、〇、五五九七 一、五五九七	八七・〇
二十九年度	一、〇、五五九七 一、五五九七	八七・〇
三十年度	一、〇、五五九七 一、五五九七	八七・〇

備考

一、舗裝面積、實際、級功、依り計上せり
二、舗裝面積、實際、級功、依り計上せり
三、舗裝面積、實際、級功、依り計上せり

太陽の恩恵を受け乍ら
 其の有り難さを知ら
 ざるの類なりとせば、
 深く咎むるにも足らぬ
 では無いかと思ひます
 が、併し乍ら、先年來
 東京市に於ける路面改
 良の急務を絶叫せられ
 たる、道路改良會に於
 かれましたは、多年の
 御努力の結果に對しま
 して、適當なる方法を
 以て御喜びの情を御表
 示下さいましたならば
 、獨り本事業に盡瘁致
 しましたる多數の者に
 對し深き満足を與えら

表 三 第

東京市土地面積に對する総道路面積及純米道路面積に對する純米道路面積比率調査		土地面積(平方メートル)		比率(%)	
區名	總道路面積A	純米道路面積B	土地面積C	總道路面積に對する比率A/C	純米道路面積に對する比率B/C
總町	一、二六八、八八〇	一〇、八一五、三九〇	八、七九五、五五〇	一四・四	一五・八
神田	一〇、一五〇、一七〇	七、五七八、二五〇	五、二六六、五三〇	一〇・三	一四・七
日本橋	一〇、一八四、六八五	六、四四三、九五〇	五、二〇、一四三、三二〇	一〇・三	一四・一
京橋	一一、九〇、五五二	六、七五五、六六〇	四、五七八、二六二	一五・一	一四・七
芝	一五、八〇、七九九	二、八四二、二五七	九、五四六、二二〇	一六・五	一五・一
麻布	一五、八四、五九四	一、九〇、六四四	四、七九七、五八二	一〇・一	一四・九
赤坂	四、五九九、九七二	二、八四二、二五七	四、四五五、四九〇	一〇・七	一四・八
四谷	五、二九九、六四八	一、九一八、一一四	二、八三九、五二〇	一〇・一	一四・八
牛込	五、一一二、五五〇	二、五五五、九三〇	五、一五五、八五五	一〇・九	一四・七
小石川	五、八四、八七九	二、八五五、五五六	六、一九五、七六五	一〇・九	一四・九
本郷	六、四六、七五八	三、四〇、八五二	四、八〇、六七六	一三・四	一五・八
浅草	九、九五、二五五	五、五八一、一五六	四、八六六、二五四	一三・〇	一五・八
本所	一、四一七、一六七	七、一九五、九六〇	四、八二七、〇六七	一三・四	一五・二
深川	一、五四、六二六	六、八〇、九七〇	六、五二六、八四〇	一三・四	一四・四
市外	一、七五八、一一八	五、四二六、二六〇	八、五五五、七八八	一三・八	一五・一
計	一、一五四、三六三	八、九二一、一五三	〇	一八・一	一五・六
合計	一四、五五八、五二五	八〇、九六五、一八〇	八、〇四一、八一六	一八・一	一五・六

るゝのみならず、全國各都市に於ける、舗装の促進上、其 適當なる御考慮を賜はらんことを、此の機會に於て切に御
 の効果多事なるべきは信じて疑はざる處であります。何卒 願致します。

路面舗装に依る東京市道路維持修繕費節約年額調 (六、三、三〇調)

道路 等級	現在に於ける工種別道路面積				現在舗装に依る節約額			全市道路舗装せられたる場 合の節約額			
	剛質	簡易	砂利	軌道敷	計	剛質	簡易	計	剛質	簡易	計
一等	四、五五九八三	二六〇、八八八	七四、八二三	八三九、九六三	五、七八一、六四四	二、二九六、五	八六、三三三	二、三〇五、八四八	二、二九六、五	一九〇、二〇〇	二、三八、八一五
二等	六三三、六五三	一、八二二、七四四	一、五二一、七七〇		三、五七七、一九七	一〇九、一六〇	一九、〇四八	三〇八、二〇八	一〇九、一六〇	四一九、五六五	五二八、七三三
三等		三五三、五五九	四、八四五、五三一				八、一三三	八、一三三		一九、八〇五	一九、八〇五
計	五、三九〇、三三三	二、〇六六、七三二	六、四六六、七三三	八三九、九六三	二、〇六六、七三二	二、三八七、七五	二、九三、四三三	二、六三三、一八八	二、三八七、七五	六四八、五七〇	二、九七七、三四五

備考

現在無舗装道路は全部簡易舗装を施工するものとする。

事業費別純鋪裝面積及工費調

事業別	剛質鋪裝		簡易鋪裝		計	
	純面積	金額	純面積	金額	純面積	金額
路面改良費	二,七九,八五六 ^{平米}	一八,〇〇〇,〇〇〇 ^圓	— ^{平米}	— ^圓	二,七九,八五六 ^{平米}	一八,〇〇〇,〇〇〇 ^圓
	二,五五,〇〇〇	一九,一五五,〇〇〇	六四,四四四	一四五,〇〇〇	二,四一九,五五七	一九,二〇〇,〇〇〇
帝都復興事業費	—	—	—	—	—	—
	五二,〇六一	五,〇三三,〇〇〇	—	—	五二,〇六一	五,〇三三,〇〇〇
市施行	—	—	—	—	—	—
	五二,〇六一	五,〇三三,〇〇〇	—	—	五二,〇六一	五,〇三三,〇〇〇
國施行	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—
失業救濟事業費	九四,〇八二	七五五,〇〇〇	一,三四五,二四七	一,四三三,〇〇〇	一,五三九,三三九	二,一七八,〇〇〇
	—	—	—	—	—	—
都市計畫道路修築費	一〇九,八九七	八五九,〇〇〇	—	—	一〇九,八九七	八五九,〇〇〇
	—	—	—	—	—	—
其他	一〇八,四八三	八六七,〇〇〇	四六六,六六一	三四〇,〇〇〇	五九五,一三四	一,一〇七,〇〇〇
	—	—	—	—	—	—
計	四,五六,八四四	四四,六六九,〇〇〇	一,八九六,三三三	一,九七七,〇〇〇	六,四六四,八八六	四六,五六,〇〇〇
	—	—	—	—	—	—

各種路面維持修繕費一ヶ年一平米當比較調

道路 等級	砂利道			簡易舗装道			剛質舗装道			砂利道に比し維持修繕費の節約額	
	維持費	修繕費	計	維持費	修繕費	計	維持費	修繕費	計	簡易舗装道	剛質舗装道
一等	0.0678 ^四	0.113 ^四	0.181 ^四	0.038 ^四	0.036 ^四	0.074 ^四	0.110 ^四	0.036 ^四	0.146 ^四	0.037 ^四	0.055 ^四
二等	0.039 ^四	0.113 ^四	0.152 ^四	0.014 ^四	0.008 ^四	0.022 ^四	0.035 ^四	0.008 ^四	0.043 ^四	0.015 ^四	0.019 ^四
三等	0.022 ^四		0.022 ^四	0.008 ^四	0.012 ^四	0.02 ^四				0.015 ^四	0.017 ^四

備考

砂利道に比し維持修繕費の節約額欄中

右側は 純面積に對する節約額

左側は 道路面積に對する節約額